

## SDGsと公害資料館 地域の持続可能性を人権と環境の視点から

活動地域  福島県、日本全域



### 課題

公害を体験した世代が少なくなり、公害をイメージできない世代が多数派となっている。公害の経験を伝え未来につなげる方策の提案と展開が待たれている。

### 目標

公害資料館が社会の中で必須な存在となる。活動の結果、SDGsを学ぶ項目の中に「公害」が必ず入るくらいに、公害学習が一般的に認知されるようになる。



### 今後の展望

2023年12月に福島大学で公害資料館連携フォーラムを開催して、福島原発事故の経験を公害の視点で経験継承していく意味について議論をする。

ひろげる助成

1年目

知識の提供・普及啓発

### 活動内容と成果

- 2023年1月21～22日 フォーラムプレ企画 トークセッション「福島の経験を継承する」&浜通り現地見学を開催した。公立と民間の博物館施設による「東日本大震災による原子力災害」の伝え方を意見交換した。取組の様子は「公害資料館だより」として公開して、各地の公害資料館にて配布した。トークセッションはYouTubeで公開している
- オンラインで、各公害資料館のアピールをする動画(公害資料館バザール)を撮影・編集して公開(YouTube)した。初年度は水島と西淀川の4本である



公害資料館バザール水島編

プレ企画参加人数 **191**人

公害資料館バザール  
動画閲覧人数 **391**回

今年度計画の達成度 **100**%

全体計画の達成度 **33**%

### 苦勞した点と工夫した点

#### ■苦勞した点

それぞれの背景がばらばらなため、議論できる場を設定することが難しい。

#### ■工夫した点

それぞれの背景を聞き、共通項を探することで議論する場を成立させていった。

〒712-8034  
岡山県倉敷市水島西栄町13-23  
電話：086-440-0121  
E-mail：kougaishiryoukan@gmail.com  
HP：https://kougai.info/

